

徳島新聞（2018/9/11）夕刊にて、当社の保険が紹介されました。

ユニーク保険 県内販売好調

消費者の細かなニーズに合わせたユニークな保険商品が相次いで登場し、徳島県内でも売り上げを伸ばしている。病気予防への取り組みに対して保険料の一部を払い戻す「健康増進型」の医療保険が増えているほか、安

全運転対策を盛り込んだ自動車保険、終活やレジャーに関する保険などが商品化されている。背景には、人口減少に伴う各社の競争激化や、小規模事業者が参入しやすくなった保険業法の改正があるようだ。（木村恭明）

新徳島新聞

The Tokushima Shimbun

夕刊

2018年(平成30年)

9月11日
火曜日

徳島市中徳島町2丁目
5番地2(〒770-8572)

徳島新聞社

電話(088)655-7373

©徳島新聞社 2018

06年法改正 小規模事業者 参入後押し

小規模事業者が参入しやすくなった保険業法は2006年に改正された。ペットや弁護士費用など保険の種類は幅広く、全国的に登録業者が増えている。

保険業を行うには通常、金融庁による免許が必要。少額短期保険は、契約者1人当たりの給付保険金額が1000万円以下などの要件を整えば登録するだけで事業ができる。

金融庁によると、06年度に2社だった登録業者は年々増

加。17年度は前年度比9社増の98社に上り過去最多となった。日本少額短期保険協会（東京）によると、一般の保険会社が扱わないユニークな商品を扱い人気を集め、総売り上げも伸びているという。

四国では唯一、死亡保障のあおい少額短期保険（徳島市）が登録されている。親会社で葬祭業のイマデヤ（同市）が販売しており、17年度の新規契約件数は、前年度を120件上回る過去最高の349件

を記録した。

葬儀費用などを想定し、死亡した際に給付する。掛け金が少ないのが特徴で、例えば100万円保障の場合は40歳男性の加入なら月額700円で、70歳男性の加入でも2800円で済む。99歳まで契約を継続できる。

09年度にサービスを始め、17年度末時点の総契約件数は2573件。70歳前後の加入者が多いという。契約件数が伸びている理由について香川宗敬社長は「子や孫に負担をかけたくないとして、終活の準備をしようとする人が増えている」と話す。（木村恭明）



「終活のためのミニ保険」の商品内容を説明するイマデヤの職員①徳島市両国本町2の同社

あおい少額短期保険株式会社